



主要プロジェクトの状況

①東九州自動車道

●着々と進む東九州自動車道

県北では、「築上(福岡県)～宇佐間」の約28kmにおいて、西日本高速道路(株)が事業を実施しており、平成28年度の供用予定を26年度に前倒しする目標が示されています。

県南では、「佐伯～北川(宮崎県)間」の約46kmにおいて、国土交通省が事業を実施しています。このうち、「蒲江～北浦(宮崎県)間」の約14kmについては、24年度に供用する目標が示され、着々と工事が進められています。また、「佐伯～蒲江間」の約20kmについては、28年度供用予定とされていますが、県北に合わせ、26年度に前倒して供用するよう、国土交通省等関係機関へ要望しているところです。



【築上～宇佐間:宇佐市山本付近】



【佐伯～蒲江間:佐伯市上岡付近】

②中九州横断道路

●着々と進む中九州横断道路

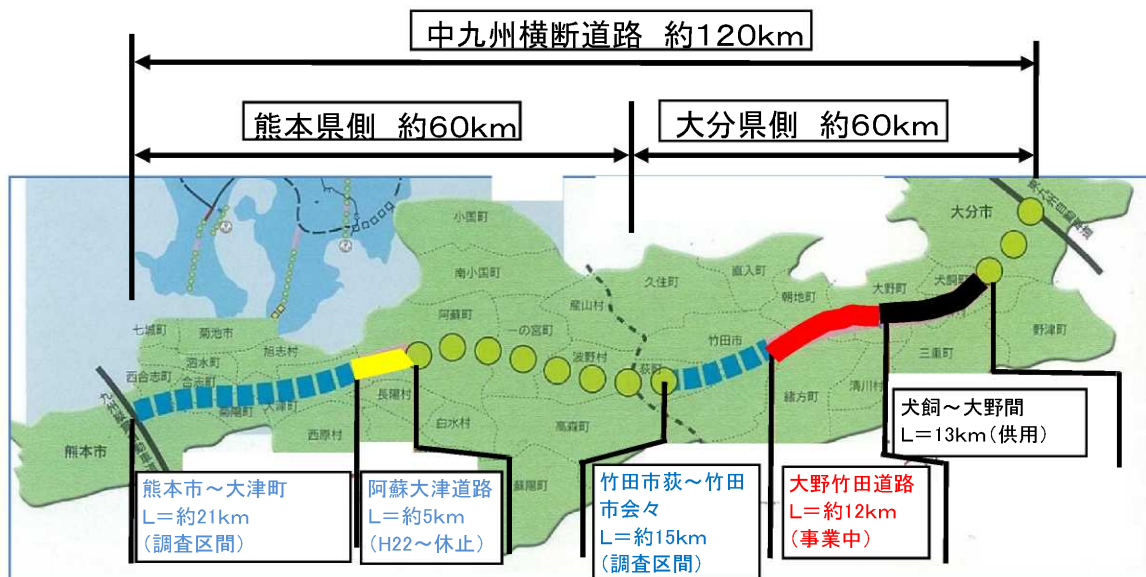
20年3月までに「犬飼～大野間」13kmが供用され、引き続き「大野～竹田間」の事業が国土交通省により進められており、現在、用地取得や工事が着々とおこなわれています。このうち、大野～朝地間については26年度に供用する目標が示されています。



【犬飼千歳道路:豊後大野市千歳町新殿付近】



【大野竹田道路:豊後大野市朝地町市万田付近】



③中津日田道路

中津日田道路全長約50kmのうち直轄臨港道路区間を含めると、約28kmの区間を国土交通省及び県により事業を推進し、うち本耶馬溪耶馬溪道路区間約5kmを平成24年3月31日に供用開始しました。【中津道路、中津港線②を合わせた約4km区間については、平成21年3月20日に供用済み】



④玉来ダム(竹田水害緊急治水ダム)

玉来ダムは一級河川大野川水系の玉来川に建設するもので、洪水調節を目的としています。平成2年7月の豊肥大水害を契機としており、稲葉ダムとともに事業採択されました。平成22年9月に国からの要請を受け、「検証作業」を実施し、平成23年10月に「ダム事業継続」の国の対応方針が示されました。早期の用地買収に向け、現在、用地調査やダム本体の実施設計など工事発注に向けた準備作業を進めています。



⑤大分駅周辺総合整備

大分駅部を含む日豊本線、久大本線及び豊肥本線を高架化し、踏切の除却を行い、交差道路の整備を図るとともに、関連事業と合わせて住民参画のもと、魅力のある”まちづくり”を実現します。

平成23年度は、高架上の軌道設置や電気・通信設備の工事を実施し、平成24年3月17日にJR日豊本線の高架開業を迎えました。高架開業後、関連する10箇所の踏切撤去を進めています。

【大分駅上野の森口(南口)】H24.3



【大分駅コンコース】H24.3



【大分駅完成予想図】



⑥大分中央幹線道路((都)庄の原佐野線)

大分市の東西骨格軸となる道路であり、東九州自動車道等と一体的に機能し、地域間連携を促進するとともに、都市内交通の改善を図ることを目的としています。大道・金池・上野工区の2.2kmは、20年度に全線供用開始しました。

今後は、元町・下郡工区の約1km間を整備していきます。

【金池工区】



庄の原佐野線

【元町・下郡工区完成予想図】



国道10号

庄の原佐野線